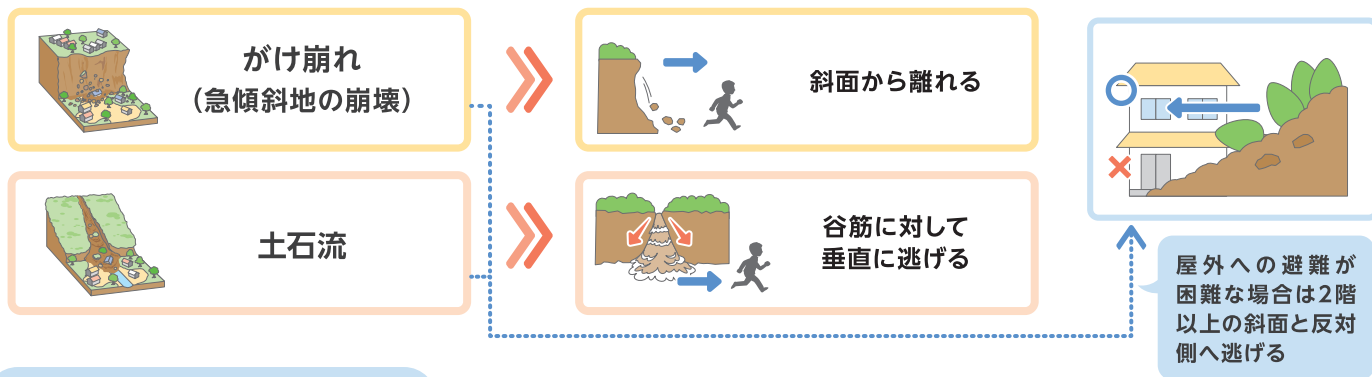
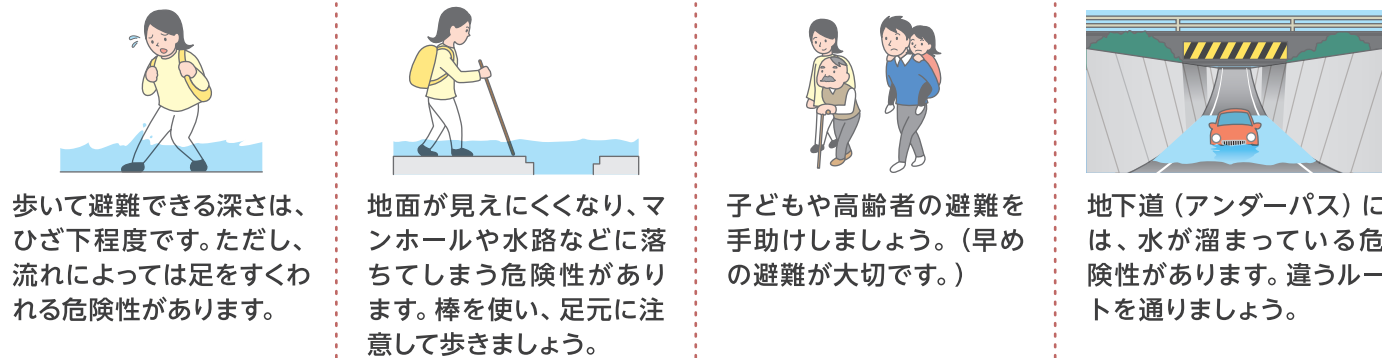
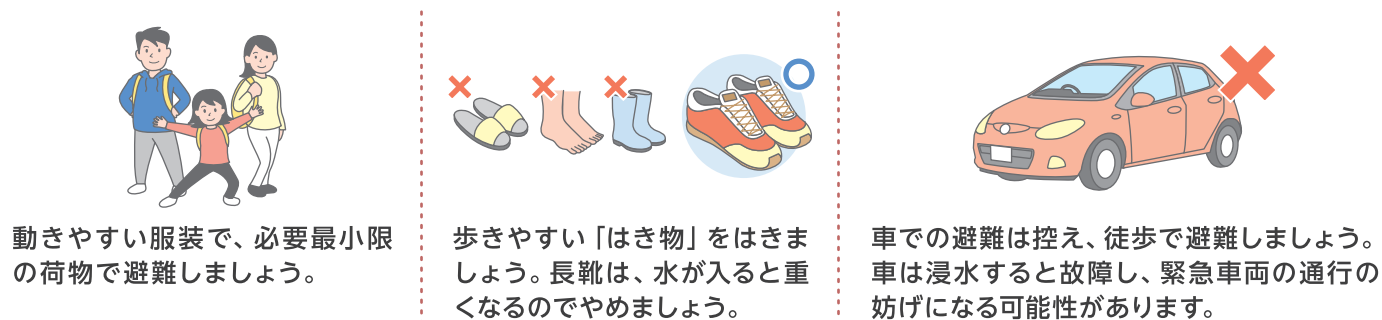


土砂災害に対する避難行動の種類



避難をするときの心得

大雨時の避難は、実際の浸水が始まる前に行ってください。浸水が始まってからの避難は、濁流に巻き込まれるなどの危険が高まります。状況によっては、自宅の2階以上に避難することも大切です。避難するときの心得を学び、気をつけて避難を行いましょう。



地域での助け合い



5段階の警戒レベル

※P49～P50の全域図（計画規模）を確認してください。

本市が出す**警戒レベル4（避難指示）**までに必ず避難しましょう。
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

避難情報など（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）	
警戒レベル	状況	住民の皆さんがとるべき行動	避難情報など	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
				浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当 はん濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
警戒レベル4までに必ず避難！					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当 はん濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当 はん濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当 はん濫注意情報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	

本市は、地域の土地利用や災害実績のほか、**河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）**なども踏まえ総合的に**避難情報など（警戒レベル）**の発令判断をすることから、**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

水位観測所における基準水位

河川のはん濫の危険性は、河川ごとに異なります。本市の主要河川の水位観測所において、はん濫の目安となる水位や、発生のおそれのある水位などを定めています。

上流で大雨が降ったときには、急激に水位が上昇することがあります。自分のいる場所だけでなく、河川の上流で降る雨にも注意しましょう。

河川名	大和川	大和川	寺川	寺川	米川	危険度レベルの概要
観測所名	黒崎	豊田	磐余	十市	新賀	
はん濫危険水位	1.70m	3.10m	1.30m	2.30m	2.80m	河川がはん濫するおそれのある水位
避難判断水位	1.60m	2.40m	0.80m	1.80m	2.40m	避難情報発表の目安となる水位
はん濫注意水位	1.60m	2.40m	0.80m	1.80m	2.40m	河川のはん濫を注意する水位
水防団待機水位	1.10m	2.20m	0.50m	1.10m	1.60m	水防団が準備する目安となる水位

